

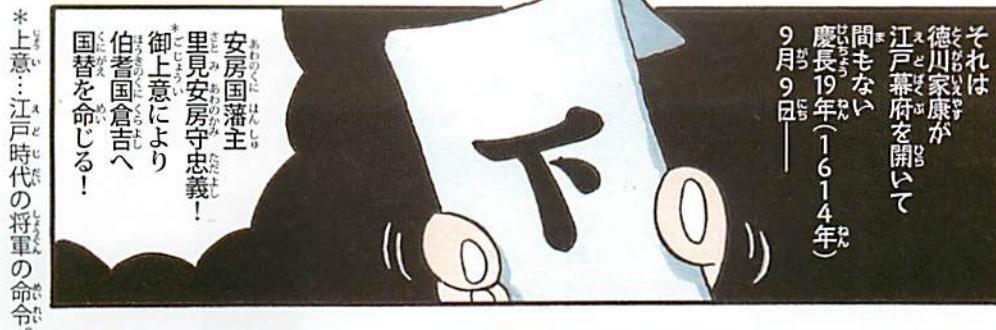
江戸時代
「南絵里見八犬伝」は
安房国里見家の著した
「南絵里見八犬伝」は
江戸時代の書籍で、元禄年間から明和年間にかけて、江戸の文人である南絵里見の筆によるもの。物語は、主に江戸の市井や里見家の内情を題材としている。

「南絵里見八犬伝」は
安房国里見家の著した
「南絵里見八犬伝」は
江戸時代の書籍で、元禄年間から明和年間にかけて、江戸の文人である南絵里見の筆によるもの。物語は、主に江戸の市井や里見家の内情を題材としている。

里見忠義

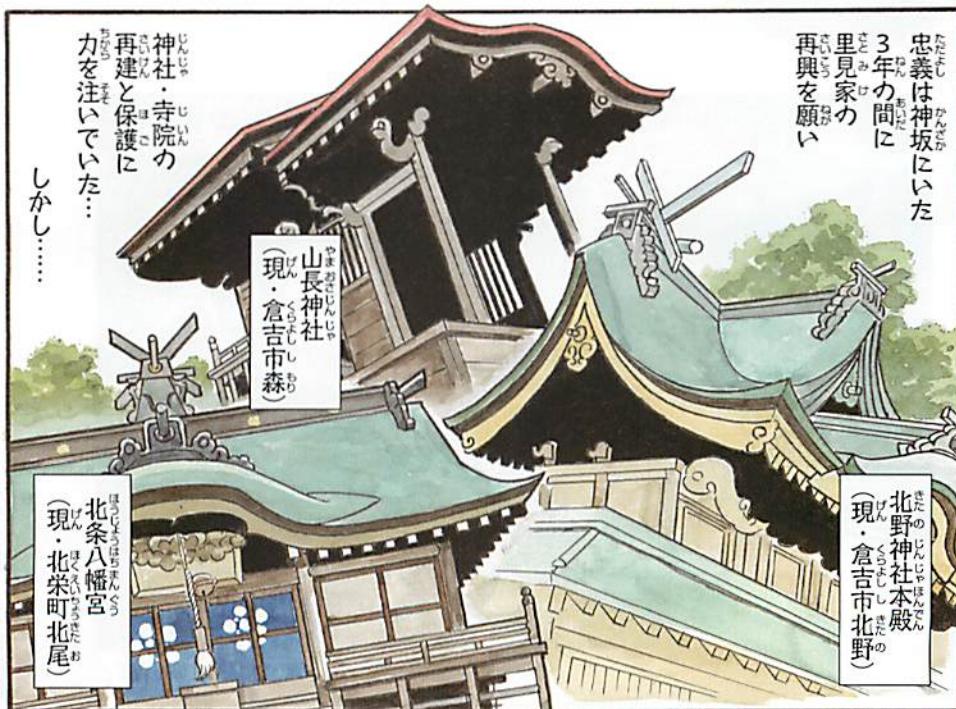


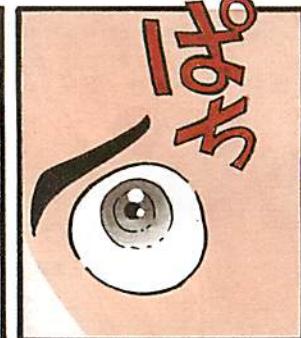
この物語のモデルとなつた出来事が
鳥取県の倉吉に残されています

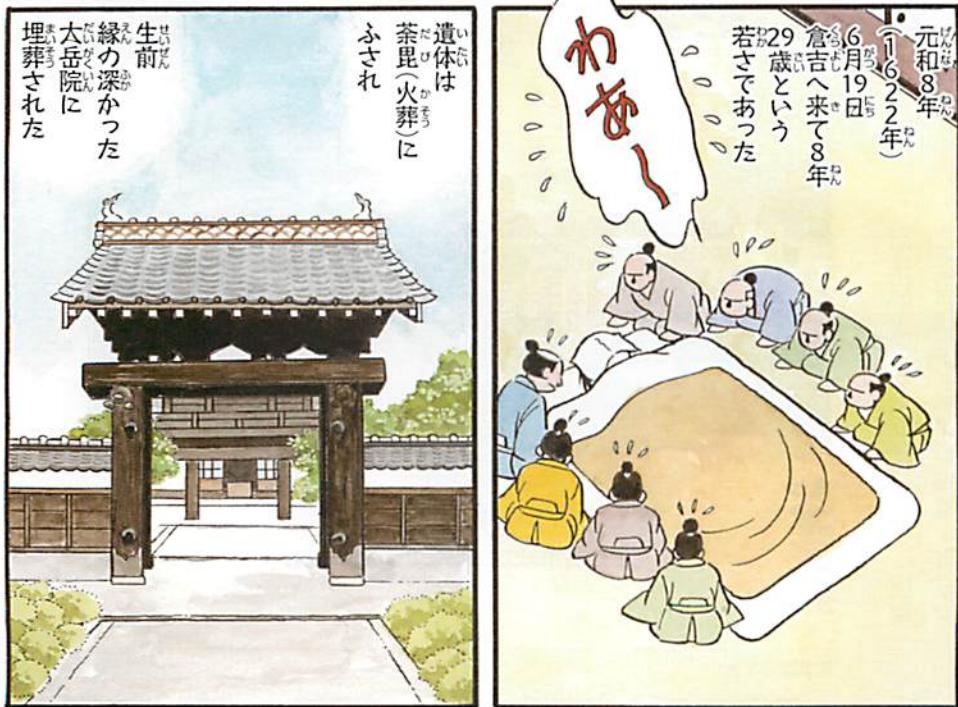


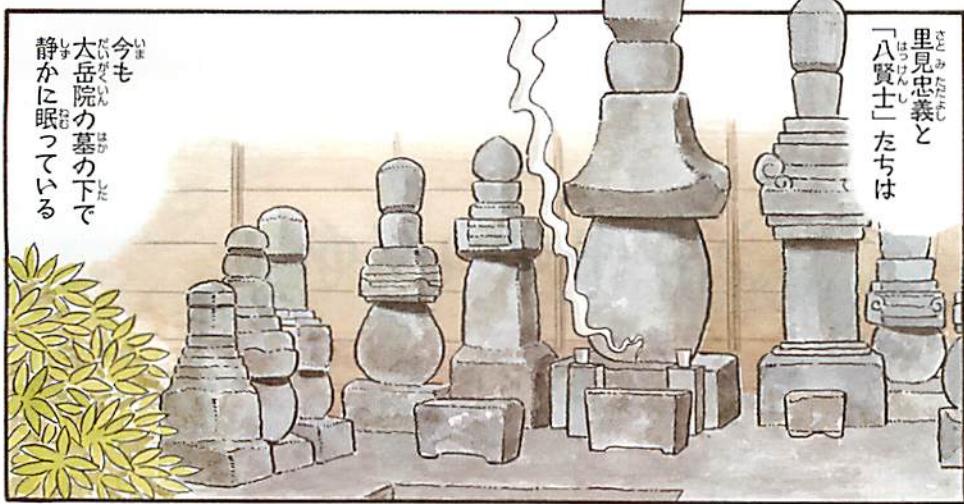
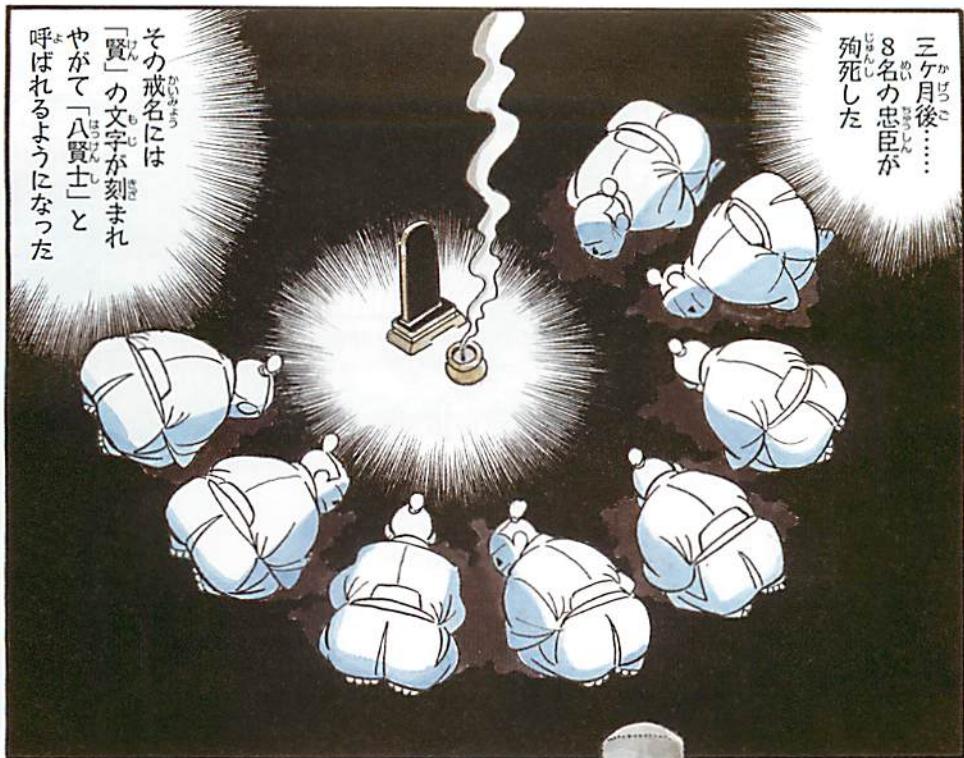












*里見忠義の記録は、まだ多くの謎につつまれています。この物語は、倉吉に広く伝わる一説をもとに作成いたしました。

発行 倉吉市 企画振興部 観光交流課

〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722番地 電話 0858-22-8158

監修 倉吉文化財協会理事 真田廣幸

漫画 岩田廉太郎／ラ・コミック